

講座No.  
2207

水曜日開講 18:00~19:00

全5回 | 各回申込可

受講料 | 無料

オンライン  
Zoomウェビナー

## 名古屋イノベーション講座 ストック・シェアリングの時代

「シェアリング・エコノミー」という言葉を最近よく耳にします。名古屋学院大学は名古屋市熱田区を研究の場として、地域に存在する有形・無形の資産（ストック）の価値を再発見し、その共有と活用を通じて地域活性化を目指す事業を行っています。今年の名古屋イノベーション講座は、本学の教員チームがその成果をわかりやすく皆さんにお伝えします。

日程	テーマ   概要	講師
第1回 10月19日	<b>空き家にしない・させないためには？空き家問題について考えよう</b> 空き家の増加は全国的にも問題となっていますが、熱田区でも例外ではありません。熱田区の空き家の現状を見ながら、空き家にしないための方法や持家の活用術などを考えていきます。	上山 仁恵 名古屋学院大学経済学部教授。 これまで、日進市空家等対策協議会委員、愛知県住生活基本計画有識者検討会議委員、国土交通省住宅ストック維持・向上促進事業評価委員を務める。
第2回 11月2日	<b>高齢者の健康づくり推進とまちづくり</b> 熱田区で実施している「みんなでのばそう健康寿命」チャレンジカード事業の成果についてみるとともに、自然に楽しく歩けるまちづくりの先進事例等を参考に、健康づくりをさらに推進するまちのあり方について考えます。	村上 寿来 名古屋学院大学現代社会学部准教授 専門は経済社会学や経済政策論で、近年は超高齢社会における社会保障と地域コミュニティのあり方について研究している。
第3回 11月16日	<b>変化する社会とコミュニティに対応する商店街</b> 商店街が地域住民のつながりを支えるストックとしての役割を果たしているとはどのようなことか。これまで本プロジェクトが訪問調査した先進的商店街の取り組みから、変化する社会に対応する商店街の姿をとらえます。	濱 満久 名古屋学院大学商学部教授。専門は流通論。主に中小規模事業者の流通について研究。 上田 幸則 名古屋学院大学商学部教授。専門は会計学。「熱田ブランド戦略プロジェクト」の立ち上げなどにかかわってきた。
第4回 11月30日	<b>公共施設・公共空間の有効活用調査結果報告</b> 熱田区には多様な公共施設・公共空間が集積しています。「場」のストックが豊かな地において、それらを有効活用し地域コミュニティの課題解決に繋げる「編集」の在り方を見出すために実施した調査・研究結果について報告します。また、イノベーションを創出するプラットフォームの事例を紹介します。	杉浦 礼子 名古屋学院大学商学部教授、博士（学術） 専門は地域イノベーション学。私立大学研究ブランディング事業における「公共施設・公共空間の有効活用研究」の研究主査。
第5回 12月14日	<b>海外のストック・シェアリングの動向は？ - エアランゲン市（ドイツ）との比較</b> ドイツのエアランゲン市は11.2万人の「大規模」都市です。クリエイティブな街として有名であり、多様な市民活動を支えるNPOが740団体以上もあります。地域価値を再編集して新しいコミュニティを形成するストック・シェアリングの視点から、対談を通じて日独比較を行い、活動の方向性を探ります。	高松 平藏 ジャーナリスト。ドイツ・エアランゲン市在住。1990年代後半から日独行き来し、2002年から同市に拠点を移す。著書「ドイツの学校にはなぜ『部活』がないのか」（2020）など多数。インターローカルジャーナルの情報発信を続ける。 井澤 知旦 名古屋学院大学 現代社会学部 教授。専門は都市政策論、まちづくり論。民間都市計画コンサルタントを経て、2012年より本学教員となる。最近では「ストックシェアリング」をテーマに地域連携を図っている。